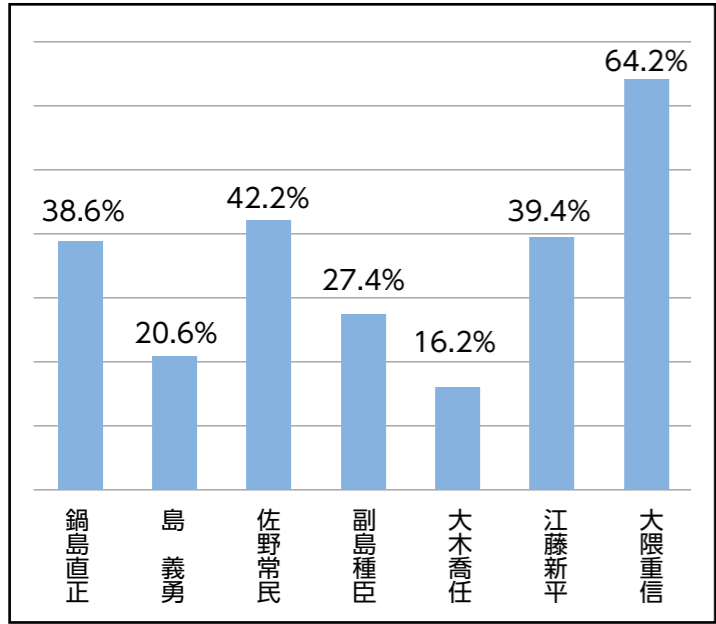


# 「佐賀の七賢人」知名度調査結果

(名前を言えた人の割合)



(有効回答数:500)



市民の皆さんを対象に、「佐賀の七賢人」知名度調査を行いました。調査は街頭で「佐賀の七賢人」の名前を言ってもらう形で実施しました。七賢人全員の名前を言えた人は全体の10.2%、七賢人の名前を一人も言えなかった人は全体の25.4%でした。

## 「佐賀の七賢人」の名前をあなたは何人言えますか？

◎問い合わせ  
本庁 明治維新150年  
事業推進室  
☎40・7008  
FAX 40・7381  
kikakuseisaku@city.saga.lg.jp

平成30年3月17日から開催される「肥前さが幕末維新博覧会」や明治維新150年に関連するさまざまな事業を通して、「佐賀の七賢人」を中心とした佐賀市の偉人やその偉業をぜひ覚えてください。

## 明治維新150年記念事業X 佐賀バルーンミュージアム開館1周年記念特別企画 「錦絵に見る明治の文明開化と気球」展



佐賀バルーンミュージアム開館1周年を記念し、明治維新150年記念事業とコラボした特別企画展を開催します。明治時代の錦絵(当時の人々や風景と気球が描かれた貴重な作品)などを中心に展示します。

日 時 10月1日(日) ~ 11月26日(日)  
10時~17時  
最終入館16時30分  
※月曜休館(祝日の場合、翌日)。  
※11月6日(月)は開館予定

場 所 佐賀バルーンミュージアム 2階 展示ルーム

◎観覧料 有料  
※佐賀バルーンミュージアム入場券または年間パスポートが必要。

◎入場券  
・大人 500円  
・小中高生 200円  
・小学生未満 無料  
◎年間パスポート  
・大人 1,000円  
・小中高生 400円

◎問い合わせ  
本庁 観光振興課  
バルーン係  
☎40・7111  
FAX 26・6244  
kanko@city.saga.lg.jp



## チケット発売・入場整理券配布情報

佐賀にゆかりのあるアーティスト等を迎え、11月10日(金)から12日(日)までの3日間、佐賀市文化会館で開催。詳しくは市ホームページやパンフレットをご覧ください。

## 第5回 佐賀市民芸術祭

**九州交響楽団 × 森山良子**  
名曲をあなたに クラシック&ポップス

■日時 11月12日(日) 17時30分開演  
■会場 大ホール  
■料金 全席指定  
S席(1階席) 5,000円  
A席(2階席) 4,000円  
■チケット販売 9月17日(日)発売開始

**伝統と革新 和楽特別演奏**  
高橋浩寿 & 匹田大智 with 容呂

特別ゲスト/野方嘉孝

■日時 11月11日(土) 16時開演  
■会場 中ホール  
■料金 自由席 一般 1,500円  
高校生以下 1,000円  
■チケット販売 販売中

◆プレイガイド 佐賀市文化会館、佐賀玉屋、モラージュ佐賀、ローソンチケット、チケットぴあ、セブンチケット ほか  
●入場整理券(無料)配布 9月15日(金)配布開始 ■会場 佐賀市文化会館 ①③④大ホール、②⑤中ホール

①オープニング セレモニー&ステージ  
稲垣潤一 & 佐賀モダンジャズオーケストラ  
スペシャルナイト  
・オープニングアクト  
Shinoe(シンガー)、福岡加奈子バレエ研究所

■日時 11月10日(金) 18時30分開演

③フレッシュ・プラス ステージ  
■出演 佐賀市中学校合同バンド、龍谷高等学校 ※ゲスト演奏を予定  
■日時 11月11日(土) 14時開演

④シンフォニック ステージ  
■出演 パーカッションアンサンブル9、佐賀市民吹奏楽団、佐賀交響楽団  
■ゲスト 宇都宮直高(歌手)  
■日時 11月11日(土) 19時開演

②[5周年・特別企画]スペシャルトークショー  
佐賀市出身のゲストが佐賀の「芸術・文化」について語る!

■ゲスト(順不同) はなわ、中越典子、宇都宮直高  
■日時 11月12日(日) 15時30分開演

⑤フレッシュ・アーティスト・セレクション  
佐賀にゆかりのある若手アーティストが多数出演  
■日時 11月12日(日) 10時開演 各回入替・各60分

◆配布場所 佐賀市文化会館、東と賀文化ホール、市役所(本庁1階総合案内、各支所、大財別館2階文化振興課)、市立公民館、浪漫座、佐賀市文化交流プラザ交流センター、佐賀駅バスセンター、市民活動プラザ ほか

◎問い合わせ 佐賀市民芸術祭実行委員会事務局(佐賀市文化会館内) ☎32・3000 FAX32・3736

佐野常民は博愛社(後の日本赤十字社)の設立者として知られていますが、その他にも、精煉方の主任として技術開発や三重津海軍所の監督、龍池会(後の日本美術協会)設立による芸術家の育成保護など、その活躍は多岐に渡っています。

常民が副総裁を務めたウィーン万博では、実際に名古屋城の金の鯰を持って行って、会場内に日本庭園を築き、神社を建てるなどの演出で大盛況に導いています。

神社建設の際に出たカンナの削りくずを、ミュージカルで有名なオーストリア皇后エリザベートが持ち帰った等の興味深いエピソードも残っています。

明治きつてのマルチ人間、佐野常民の偉業は、ぜひ川副町の佐野常民記念館でご確認ください!



## 維新 Saga 雑談

◎問い合わせ  
本庁 明治維新150年  
事業推進室  
☎40・7008  
FAX 40・7381  
kikakuseisaku@city.saga.lg.jp